

地域密着型サービス（WorkshopRNC）運営推進会議 【第3回】

日時	2024年3月7日（木）16:00～17:00		場所	WorkshopRNC
利用者	ケアマネジャー様		地域包括支援センター様	事業所管理者
	ご家族様	地域医療 機関者	事業所職員	市職員

■議題

1. 活動状況

- 登録者数（市内・市外・合計）
- 月別利用者数
- 要介護度別利用者状況
- 活動内容

2. 活動状況の評価

3. 出席者からの要望・助言

4. 意見交換

■議事内容

1. 2024年3月現在

◇成人登録者数 総数 27名

武蔵野市 16名

三鷹市 9名

西東京市 1名

小金井市 1名

◇小児登録者数 総数 5名

（内、医療的ケア児3名、その他児童2名）

要支援1：3名

要支援2：2名

要介護1：16名

要介護2：4名

要介護3：1名

要介護4：1名

要介護5：0名

（内、認知症14名、高次機能障害3名）

◇活動内容

- ・弁当販売
- ・調理（昼食作り、メニュー立案）
- ・ワークショップ（書道、水彩画、料理教室、お菓子教室、手話教室など）

・子どもの学習支援

① 利用者が利用児の宿題を見る

② 図書管理（図書カード作り、製本など）

・多世代交流

① 一緒に遊ぶ（カードゲーム、将棋、オセロ  
キャッチボール、ジェンガなど）

② 一緒におやつ作り

③ 昔遊びの伝承（けん玉、コマ回しなど）

④ 行事企画（夏祭り、ハロウィン、クリスマス会  
お花見など）

・その他

有償ボランティア受入れ（現在5名登録）

片付け、掃除、週間メニュー作り、ポスター作り  
などの作業に従事

## 2.

- ・地域密着型ということで地域の方に開かれた事業所でありたいが、地域の方への認知度が低かった。自動ドアを開けてお弁当の販売をする中で、お客さんにデイサービスを知っていただく機会が増えた。引き続きイベントやワークショップの開催で地域へのアナウンスを継続する。
- ・利用者様の入れ替わりが進んでいる。初期の利用者様が諸事情で退所され、新しい利用者様が増えている。認知症の症状が進み、ご自宅での生活が困難になり施設に入所されるためデイサービスを退所されている。調理作業での機能訓練ややりがいを持てる活動内容を求めて要支援の利用者様が増えている。
- ・共生型デイサービスとしての運営をしているが大人の利用者様が増えない現状。午後のサービス内容が固定化していないためケアマネジャー様も説明が難しいという意見もある。多世代交流を活発にするための方法をより深く考えていく必要がある。
- ・障害者施設の就労継続支援から介護保険サービスへの移行として利用希望の方の依頼がきている。若年層の方も多く、且つ仕事としての活動がある。法整備の問題もあり受入れは模索中であるが、引き続き考慮及び体制を整える必要がある。

## 3. 4

- ・災害時の避難方法、出口、手順などについて確認したい。手すりの設置をしてほしい。
- スタッフの安全確保の手順や災害時のマニュアルや動きについては現在整備している。
- ・3時間のデイだからと勧めても「何十年もご飯作ってきたのだから料理したくない」という人が多い。
  - ・子どもの学習支援ができる人がいるが、子どもはどんな人か？
- 障害福祉のサービスの受給者証が必要になる。
- 学習支援も一部実施しているが、子どもたちが遊びを目的として来ている子が多く、なかなかマッチしない。
- 発達障害があり不登校気味なお子さんに対しては学校と連携して宿題をみる活動はしていた。集中して学習ができる環境の確保をしたいが、活動スペースが狭く別部屋の確保を検討している。
- ・強みがある大人の人をマッチングする際に Workshop は第一候補になる。引き続きマッチングの相談をしていきたい。
- こちらからのアピールや提案も必要。
- 「こどもの先生になる」ということができる大人は少ないが、一緒に過ごす中で高齢者から子どもへ教えたり伝えたりできるような環境設定や支援を行う。
- ・手話教室を地域の方にも体験していただく予定。1回500円12クールで勉強ができる。講師の先生も介護保険を受けている方である。
  - ・男女比はどれくらい？

→男性 18%くらい。若年性アルツハイマーの方が退所されて男性が減ってしまった。

- B C P の計画書作成

介護保険でも計画を立てている。蓄電器などを用いると食事も作れたりお湯を沸かして暖をとれたり非常食の他にもお弁当の食材がある。迅速に整備を進める必要性はある。

- 就労継続支援施設からの依頼について

→会社として将来的に就労継続支援 B 型をやっていききたいなどの理想はある。別場所で 18 歳～64 歳までの間に入ってしまう方をシームレスに支援するために就労 B などで体制を整えていきたい。